



	発現率 (%)
上顎前突	5.18
反対咬合	3.86
切端咬合	5.20
開咬	5.37
過蓋咬合	7.14
過蓋咬合を伴う上顎前突	3.03
開咬を伴う上顎前突	1.23

二ケイ酸リチウム含有セラミックス

IPS e.max

ivoclar vivadent

修復物	著者・発表年	修復物数	評価期間 (年)	成功率 (%)
クラウン	ivoclar vivadent	642	5.6	94.1

IPS e.max scientific report vol. 2 / 2001-2013 : ivoclar vivadent

## 一般的なセラミック修復に関して

修復物	著者・発表年	修復物数	評価期間(年)	成功率(%)
インレー・オンレー	CEREC study	2328	9	95.5

1990年から1997年にかけて794人の患者を対象に実施。装着された2,328の歯牙をチェアサイドでの CERECインレー、オンレーにて修復した際の成功率に関する研究。

不成功に終わった修復はわずか35症例で、その原因は主に抜歯によるものであった。

修復のサイズおよび部位と不成功との相関関係は見られなかった。

## 各種修復物の3年・5年・10年の成功率に関して

修復物	修復物数	成功率(%)		
		3年	5年	10年
Metal Inlay (銀歯)	103	91.6	88.0	67.5
Metal Onlay (4/5冠)	58	91.2	78.4	60.5
Metal Crown (金属冠)	118	87.0	74.8	55.8
Metal Bridge (ブリッジ)	125	78.8	55.6	31.9

口腔衛生会誌 J Dent Hlth 58: 16-24, 2008 臼歯部修復物の生存期間に関連する要因 青山貴則 相田潤 竹原順次 森田学

## 各種修復物の再治療率

修復物	修復物数	再治療歯数	再治療率(%)
Metal Inlay (銀歯)	103	29	28.16
Metal Onlay (4/5冠)	58	20	34.48
Metal Crown (金属冠)	118	44	37.29
Metal Bridge (ブリッジ)	125	75	60.00

## 各種修復物における再治療の原因

	二次齲蝕	脱離	根尖性歯周炎	辺縁性歯周炎	その他	合計
Metal Inlay (銀歯)	21 (72.4%)	6 (20.1%)	0	0	2	29
Metal Onlay (4/5冠)	10 (50%)	1 (5.0%)	1 (5.0%)	3 (15.0%)	5	20
Metal Crown (金属冠)	6 (13.6%)	10 (22.7%)	16 (36.4%)	4 (9.1%)	8	44
Metal Bridge (ブリッジ)	17 (22.7%)	21 (28.0%)	14 (18.7%)	11 (14.7%)	12	75

## 8020達成者の噛み合わせと人数の関係

	男性	女性	合計
正常咬合 (OB/OJ 4mm以下)	22	7	29
上顎前突傾向 (OJ 5mm以上)	5	4	9
過蓋咬合傾向 (OB 5mm以上)	7	6	13
反対咬合・切端咬合・開咬	0	0	0
合計	34	17	51

8020達成者の歯列・咬合の観察 -東京都文京区歯科医師会提供の資料より- 日本歯科医師会雑誌 Vol.52 No.5 1999-8